

# 共和の郷・おだ

広報 第122号

平成26年1月1日発行

自治組織「共和の郷・おだ」、小田地域センター 739-2207 広島県東広島市河内町小田 2182

☎ : 082-438-0166 ホームページ <http://kyouwanosato-oda.com/admin>

E-mail [oda-k@city.higashihirosima.hiroshima.jp](mailto:oda-k@city.higashihirosima.hiroshima.jp)

## 小田城址より初日の出(元旦報告)

小田城址で初日の出を仰ぐのは第6回です。赤く染まった雲の間から、大きな太陽が燦々と現れました。「新年とともに神も一緒に訪れる。」との思いで眺めると、いっそう神々しく思われます。小田地域の皆様にとって輝かしい年になりますことを祈念いたします。



## 平成26年元旦 新年の集い(元旦報告)

新年おめでとうございます。第6回の小田城址で初日の出をお迎えし、引き続いて7時50分から大ホールで「新年の集い」を行いました。国歌「君が代」、1月1日の歌を村上博富様の伴奏で全員が斉唱しました。恒例の小田神楽保存会の皆様による「悪魔払い」を鑑賞しました。(自)「共和の郷・おだ」会長、各部長と、児童を代表して小田地域の6年生の皆様から、新年を迎えるに当たって、抱負を語っていただきました。

総務企画部

## 新年の抱負 (自)「共和の郷・おだ」会長 瀬川豊茂

(自)「共和の郷・おだ」の組織を再編成して約2年がたちます。8つの部会がそれぞれ計画に沿って着実に活動しています。

旧年は長年の懸案でした「戦没者・大安慰追悼法要」の営みでは、たくさんの方から感謝の言葉をいただきました。「ホームページの立ち上げ」の成果として、各地から「こいのぼり」をいただくことができました。また、(自)「共和の郷・おだ」の活動を広く発信することで、NHK教育テレビ(Eテレ)の放映、県内外からの訪問など受けました。(農)ファーム・おだ、パン&マイム等の活動も一緒に報告しました。

ビジョン策定委員会では第4回目の会合を重ねて頑張っています。「共和の郷・おだ」たより(広報誌)の充実を図り、「ホームページの更新」をすること、ひろしま森づくり事業の実施など取り組むことがたくさんあります。

皆様のご支援・ご協力で「誇りの持てる、住みよい、和やかな郷づくり」を目ざしていきたいと思ひます。

### 総務企画部長 西村雅吉

明けましておめでとうございます。今年、干支の午年にちなんで、馬のように素早い対応を心がけ、問題の処理に当たりたいと思ひます。これが部の方針であり、私自身の課題であります。今年3月にはビジョン策定を完成したいと思ひます。実行の初年度なのでスタートをすばやくしたいと思ひます。

### 文化教育部長 藤川 勉

文化教育部では今年度講演会や盆踊りが盛り上がるように取り組んできましたが十分とは言えませんでした。もっと参加者が多く集まれるよう、皆様のごアイデアをいただき、ご支援をお願いします。

3月9日(日)は第14回生涯学習発表会が行われます。日頃の学習、練習の成果をこの機会に発表していただきたいと思ひます。ステージ発表や作品展示もよろしくお願ひいたします。

### 環境保全部長 小早川正治

本年度主な活動内容は、小田城址周辺整備、マイロードの清掃、地域センター周辺の美化活動など取り組んできました。多目的集会施設の玄関や寄りん菜屋周辺をイルミネーションでかざりました。来年はもっとよくしていこうと思ひます。防災の研修に数名が参加し、その成果を小田地域の防災計画に生かしていきたいと思ひます。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

### 福祉ふれあい部長 西川芳子

8月の「小田ふるさと夏祭り」を企画しました。テーマを「みんなそろって小田踊り」として盆踊りが盛大になるよう協力していただきました。また、民生委員・児童委員の皆様の支援で金婚者の表彰や長期入院(施設入所)者の訪問・お見舞い、亡くなられた方のご香典、出産された方のお祝いなど取り組んできました。

河内町「福祉ふれあい祭り」に協力するなど、これまでお世話してこられた社会福祉活動のご苦勞が身にしみて分かりました。サロンの活動や防災・防犯活動等もこれからの課題です。今後ともよろしくお願ひいたします。

## 農村振興部長 有田豊秋

新年おめでとうございます。昨年の農産物品評会は悪天候の中、皆様のご協力により無事終了することが出来ました。しかし参加点数が年々減少しています。今年は出来るだけ多く参加していただける様考えて行きたいと思います。今年も宜しくお願いします。

## 体育健康部長 戸坂伊津巳

明けましておめでとうございます。体育健康部では旧年はパークゴルフ大会が天候に恵まれて実施できました。2月2日に恒例の「第39回小田一周駅伝競走大会」が行われます。沢山の児童生徒の参加を期待しています。今年は部員全員、雪が降らないよう祈っています。また、地域の皆様の沿道の応援をよろしくお願ひします。

## 女性部長 林 由美子

敬老会では「いつまでもお元気で」をテーマに皆さんの協力のもとに盛り上がり、たくさんの参加者で盛大に行うことができました。今年は午年にちなんで飛び跳ねるように飛躍の年になりたいと思います。誰もが住みよい地域になり、パワーを感じさせる小田の郷づくりをめざして、また1年元気に頑張りたいと思います。皆様のご多幸を願っています。

## 白竜部長 宮本 勝

健康、友愛、奉仕をキャチフレーズに活動しています。小田の65歳以上の方は約240人おられ、どなたでも参加できるようになっています。小田老人集会所で毎月15日にサロン活動をしています。カラオケ、ゲートボールやパークゴルフもやっています。小田史跡調査会の研修に参加、健康づくり教室、しめ縄作り、講演会に参加、河内町内6地区の老人クラブ内の懇親会などの行事に参加しています。今後ともよろしくお願ひいたします。

【6年生の皆様の「新年の抱負」を発表していただきます。】

### 6年生 香川麻帆さん

明けましておめでとうございます。中学校に行ったらクラブ活動や勉強を頑張ります。友達をたくさん作り、楽しい中学校生活を過ごしたいと思います。

### 6年生 正宗紀子さん

新年おめでとうございます。安芸入野スポーツ少年団でバレーボールを頑張っています。中学校でもバレーボールクラブに入り、友達をたくさん作ります。英語の勉強も頑張ります。

### 6年生 森原 黎さん

4月から中学生になります。クラブ、勉強とたくさんやらないといけないことがあります。今までとちがう心でがんばろうと思います。そして、たくさんの友達と仲良くし、楽しい学校生活をおくり、いろんな思い出をつくらせていきたいと思っています。

事務局

## (農)「ファーム・おだ」 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、ご家族お揃いで健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から(農)ファーム・おだの事業推進に対しまして格別のご理解とご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

(農)ファーム・おだを設立いたしましたして、8年目を経過いたしました。この間「住みよく、楽しく、明るい地域づくり」を目指し、「優良農地を荒らさずに守り続け、若者の受け皿になる」ことを法人経営の目標とし、組合員の皆様から貴重な意見やご提案をいただきながら積極的に経営運営を推進してきたところでございます。

昨年を振り返って見ますと第1点目は、米粉パンの製造販売を拡大し「パン&マイム西条店」をオープンしたことです。米、大豆、麦など一次製品の販売には限界があるため、米の需要拡大と収益の増大を図るため、(株)サタケと企業提携し昨年10月24日に「パン&マイム西条店」を出店いたしました。6次産業化による多角経営であります。

西条店の特長は、健康にやさしい成分であるギャバ米粉パン(ガンマーアミノ酪酸を多く含む米粉を使ったパン)で、もちっとした食感とアミノ酸の甘みがあるのが特長で、多くの幅広い消費者から人気を博するようになりました。店舗は国道2号線沿いの西条中学校前です。「地元で生産・加工を行う安心安全そして美味しい米粉パン」とあって、昨年度の販売額は3,100万円余となりました。これは米、大豆、麦の2分の1以上の販売額です。珍らしさもあって計画以上の販売額となりました。今年は、学校給食や量販店等に販路を拡大したいと思います。

第2点目は、小田産米が全て1等米となりました。昨年の天候は異常気象で、猛暑、水不足、収穫期の長雨、倒伏、秋ウンカの被害で、広島県は71%が1等米でしたが、ファーム・おだは始めて全て1等米となりました。これは、永年の堆肥施用による土づくりの効果が現れたためです。今後も異常気象に耐えられる土づくりを続け、水田という財産を残すため有機中心の農業生産を続けたいと思います。

第3点目は、経営面積が県内最大の103ha、154戸になる見込みとなりました。国の事業で「人・農地プラン」の事業実施で、高齢化や赤字経営で栽培が難しくなった農地をファーム・おだに白紙委任し、農地集積協力金を受給できる制度を活用するためであります。新規に約19ha26戸が加入される見込みとなりました。TPP加入問題や生産調整廃止など厳しい農業情勢ですが、小田地域の優良農地を守り、持続的な経営安定を目指していくため全力で取り組んで参ります。

今年も、(農)ファーム・おだの経営・事業推進に、一層のご支援、ご協力を賜りますとともに、本年が組合員を始め小田区民の皆様にとりまして、輝かしい年となりますよう祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

農事組合法人「ファーム・おだ」組合長理事 吉弘昌昭



# 第39回小田一周駅伝競走大会(ご案内)

小田一周駅伝競走大会が2月2日(日)小田地域センターグラウンドをスタートし、小田地区内を一周するコースで行われます。小学生10人(10区間)で1チーム、中学生は3人で1チームとして参加します。

9時40分にスタートし、10区間を約40分間でゴールする予定です。また大人の方で全区間を一人で走られる方もいます。この時間帯に例年のコースを走りますので、応援・協力をよろしくお願いいたします。中継所等で車の通行にご迷惑をかけることがあるかもしれません。

また、小さい子どもたちの参加によるミニマラソンも行われます。大会に参加された皆さんに「うどん」と「米粉パン」を用意しています。優勝したチームにはトロフィーと賞状が贈られます。区間賞にもトロフィーがあります。この大会が盛大に開催できますよう、大会役員、保護者、小田地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



前回のスタートの様子

(自)体育健康部

## 民生委員・児童委員(引き継ぎのお知らせ)

小田地区の民生委員・児童委員3名の方が任期により交代されます。1～4組を担当されました小山盛次様は8年間継続してお世話をいただきました。その後任に林 由美子様。次に5～8組を担当されました重津良子様は18年間も長くお世話をいただきました。その後任に渡辺千穂子様。そして9～12組を担当されました中川 稔様は9年間お世話をいただきました。その後任として末岡紀代美様が担当されます。

前任の三名の方のご労苦に心から感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

民生委員・児童委員は、民生委員法と児童福祉法によって、厚生労働大臣から委嘱され、無償で活動されます。主に地域住民と、福祉行政サービスの橋渡しをする役割をにない、相談内容については守秘義務があります。

新しく就任されます林 由美子様、渡邊千穂子様、末岡紀代美様、今後ともよろしく願いいたします。

(自)総務企画部



1～4組担当の林 由美子様



5～8組担当の渡邊千穂子様

# 子ども会小田支部 クリスマス会(12月23日報告)

23人の子ども達と12人のお母さん方が集まり、一緒にクリスマスケーキを作りました。スポンジケーキはパン&マイムで、そのほかの材料は役員の方で準備され、子供たちとお母さんと一緒に楽しいクリスマスケーキが出来上がりました。そのあと大ホールで親子のゲームが行われました。最後に談話室でお茶やお菓子を食べながら話し合いをして楽しく会を閉じました。

未就学児童7人を含めにぎやかで和やかな会でした。家に帰ってからも、お土産の「手作りクリスマスケーキ」を囲んで家族で楽しい団らんができたことと思います。

河内西小学校区子供会小田支部、小田地域センター



# クリスマスコンサート(12月7日報告)

子供たちに本物の音楽を実感させてやりたいとの思いで始めたことが、21回目となりました。今回はカントリーミュージックオンリーで、シロミティーズの先生、前田宏樹氏のバンド、フットヒル・ドライブとピート・デナヒー氏(日系2世・オーストラリア人)のコラボでした。カントリーミュージックは古くはフォスターの草競馬など、最近ではカントリーロードが有名です。ほとんど英語の曲でしたが、ギター、ヴァイオリン、バンジョー、ウッドベースの音色がテンポよく、心踊り元気をもらったひと時でした。前田先生の指導のたまものか、シロミティーズの腕がずいぶん上がったと感じたのは、私だけではないと思います。今回60人ほどの観客でした。地区外からもけっこう来られます。小田では小難しい会議等いっぱいあるけど、他力でお任せの夜遊びはないと思います。それもワンコイン500円で！毎年いつもの時期にやっています。どうぞ遊びに来て楽しんで下さい。そして、小田地域センター、(自)「共和の郷・おだ」さん、いつも後援ありがとうございます。 シクラメンの会 有田友子



ピート・デナヒー&フットヒル・ドライブ



シロミティーズのみなさん

ありがとうございました。

ご寄付は(自)「共和の郷・おだ」の活動のため、有効に活用させていただきます。

香典返し 正宗 浩 様  
見舞い返し 奥村明子 様  
見舞い返し 林 幸子 様

自治組織「共和の郷・おだ」  
福祉ふれあい部

会 長 瀬 川 豊 茂  
部 長 西 川 芳 子

## しめ縄づくり教室 (12月8日報告)

「しめ縄づくり教室」を竹原泰男先生にご指導いただきました。普通の縄と違って左に寄りをつけること、2組で寄りをつけた縄にもう一組加えて3本編みの縄にすること、中ほどを太くした縄にすることなどが難しいところです。木のつちで打って柔らかくしたわらを左にひねりながら縄を作る手の感触は楽しいものでした。

新年を迎えるとき「しめ縄を飾る」謂れについて、「新しい年が来ると神様も一緒に来られる。ここは神聖な所のしるしとして玄関にしめ縄を張る。家の中では神様に鏡餅などお供えをしてお迎えする。」といったことを高齢の方からお聴きました。



手を取り指導される竹原様

小田地域センター、(自)白竜部

## そば打ち体験懇親会 (12月8日報告)

ビーチボールバレー教室のメンバーで、そば打ち体験を一般の方に広く呼びかけ、懇親会を行ないました。細川被服の中国研修の方なども参加され、中国料理をたくさん作ってこられ、楽しく交流ができました。

(ビーチボールバレー教室)



そば打ち全工程の研修



黒瀬宗司様を囲んで

## イルミネーションで明るく (12月7日報告)

寄りん菜屋 西側の野外ステージ周辺と多目的集会所玄関をイルミネーションで飾りました。多目的集会所で当日クリスマスコンサートが行われ、おとずれたお客さんに玄関の華やかなイルミネーションをさっそく楽しんでいただきました。

イルミネーションも古くなり電球も切れてきましたので線も短くなりました。しかし、寄りん菜屋の軒下や植木に張られた明かりが、寒い夜、車で通るとき何か楽しい気持ちにさせてくれます。当日寒いところボランティアで取り付け作業してくださった皆様に感謝いたします。

(自)環境保全部

## 往診歯科おだ(1月14日開院のお知らせ)

医院名 往診歯科おだ  
ところ 小田地域センター(2階右)  
診療時間 月～金 午前10時～午後5時  
土 午前10時～午後1時  
休診日 日曜日・祝日  
電話番号 082-401-1234  
歯科医師 鈴木 隆子  
歯科衛生士 柏原 久美子



よろしく願いいたします。鈴木隆子

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前10時～午後1時	○	○	○	○	○	○
午後2時～午後5時	○	○	○	○	○	/

紹介 このたび1月14日より、小田地域センター2階に「往診専門」の歯科医院を開業いたします。歩行困難や認知症などで、お一人では歯科医院に受診することが難しい方のために、ご自宅や施設にお伺いして歯科治療を行います。

治療をご希望の方は、ご加入の健康保険証、介護保険証などをご用意の上、まずは電話でお問い合わせいただくと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

院長 鈴木 隆子

## 長期入院・入所者のお見舞い(12月15日報告)

民生委員・児童委員と福祉ふれあい部で1年以上病院や福祉施設に入っておられる方をお見舞いに参りました。

小田のことを大変懐かしく、あれこれと時を惜しんで喜んで語ってくださる方もおられました。また、話すことが不自由な方は、枕もとでゆっくりと小田の様子をお話したりすると、まなこを動かしたり、口元をかすかに動かしたりする方もおられました。また、手をにぎったりするなどしてスキンシップを通して、かすかなコミュニケーションを図ることができたように思えました。

民生委員・児童委員、(自)福祉ふれあい部



# 東南アジア13か国の若者小田を訪問(H25, 12, 6~7報告)

外務省の21世紀東南アジア青少年40人の大交流計画の一環として13か国から大学生が小田にやってきました。昨年12月6日~7日、小田地域の11戸に2~4人が分散して民泊しました。(西村雅吉様、松本昌三様、国原昭典様、西川芳子様、末岡博和様、中川 稔様、小山盛次様、住原正弘様、片岡真由美様、吉弘昌昭様、山脇邦昭様)小田で東南アジアの若者たちが感じたことや経験したことを紹介します。民泊された家族の方から話を聞いたものです。

○「屋根にどうして鯉がついているの。」(鯉は元気の良い魚で、滝でものぼる。やがて立派になって龍に変わるという言い伝えがある。家が未永く発展することを願って屋根の高いところに取り付けている。)  
「だから波の模様もついているね。日本は素晴らしい考えを持った建築の家だね。」(オーストラリア)

○(小さな庭を見て)「これは何を表しているの。」(この狭いところに小さな島や大きな山を表しています。)  
「大きな地球を、この狭いところに自然の美しいところなどを凝縮して表そうとしているね。日本の文化はすてきですね。」

(カンボジア)

○栗のイガを見つけ栗の実を取り出し、珍しそうに食べていた。(ブルネイ)また、寒い中でも小さな花が咲いているのがめずらしかったのか、カメラに収めていました。朝、畑のネギに霜がついているのを見て「小さな氷がついている」と驚いていました。(ラオス)

## 師走の山里国際交流

農業 松本 昌三 74歳 だが、熱意で何とか伝わった。東南アジア諸国連合(ASEAN)の国を含む13か国から40人の大学生の訪問を受け、師走の山里は一気に国際色豊かになった。

1泊2日の農村体験は、地区農家13戸が引き受けた。私も一人暮らしの身ながら、変化と刺激と若さを求めて、思い切って受け入れを申し出た。

わが家には、マレーシアとインドネシアの大学生2人が宿泊した。日本語は、ありがとうのほかに教語くらいで、見振り手ぶりに単語を並べての会話で大変だっ

た。私も一人暮らしの身ながら、変化と刺激と若さを求めて、思い切って受け入れを申し出た。わが家には、マレーシアとインドネシアの大学生2人が宿泊した。日本語は、ありがとうのほかに教語くらいで、見振り手ぶりに単語を並べての会話で大変だっ

松本昌三様の12月20付け中国新聞投稿掲載より引用

(小田地域センター)



13か国の大学生とお世話した皆さんと一緒に (寄りん菜屋前で)